

## 放課後等デイサービス 事業者向け自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ高梁

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	わから ない	工夫している点 改善目標	それを踏まえた対応
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		3			夏休みなど人数が多い時期は狭く感じる。	その都度構造化の見直しを実施しています。ハード面の確保は早急には難しいため、利用定員は最大人数を決めて設ける予定です。安全面にも配慮していきたいことをご理解ください。
	2	職員の配置数は適切である	3					
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			3		階段がある。	手すりは設置してあります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	1			職員全員で情報を共有するツールがある。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		1	1	1	今年度より実施。継続的改善活動を積極的に行っているため、日頃から改善点などは解決するように心がけている。	自己評価は、今年度初取り組みとなっています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	1		1		今回公表させて頂いています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			1	1	外部評価は行っていない	

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			1か月に1回の研修を行っている。 外部研修を受けた職員が、事業所内で研修発表を実施し、周知して情報を共有できる機会を設けてある	保護者から専門性を求められることが多いです。 今後も継続的に実施していきます。また研修情報をオープンにしていきたいです。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	1		<u>アセスメントは職員により差が出る部分がある</u>	①チームリーダーやスタッフリーダーのもと、レクチャーしながらアセスメントを実施しています。客観的評価の為、人によってばらつきが出ないように、マニュアルも作成し、工夫をしています。経験の浅いスタッフに関しては、アセスメント場の積み重ねが必要になります。	
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			法人として、アセスメントツールは全スタッフが統一した物を使っている。	太田ステージ、心の理論、バインランド、コグトレを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	1		1	プログラムの立案は児童発達責任者を中心に行っている。ワークは各担当が行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	1		1	基本的な流れは固定されているが、同じ流れが安心しやすい状況もある。 土曜日活動は様々な内容がある	固定化＝「継続的な取り組みによりスキル定着をさせる」という意味では固定化を大事にしていきたいです。内容は、発展性を目指しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	2			状況に応じて活動プログラムは変化している。課題設定は常に行っている。	

14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1	2			ゲームとワークで個別と集団があるが、ゲームを行わない児もいる為、課題	ゲームを行わない場合はプレイでの自由遊びが主となる。その中でやり取りが持てるように支援をしています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	2			事業所内で周知事項は確認できている、また気になったことは確認しているが、打ち合わせはない ワークの打ち合わせは事前に振り分けと内容を伝えている	基本的には運営者が必要なことは全体的に発信しています。難しい所や場面に関しては、現場でコミュニケーションを取りながらチームリーダーやスタッフリーダーが中心となり支援に当たっている
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	2			事業所内で周知事項は確認できている、また気になったことは確認しているが、打ち合わせはない。 毎回ではないが、困った時など状況に応じて確認し合っている。	スタッフ各自で、不明なことや難しい所を自発的に確認・質問してくる習慣があります。何でも聞ける風土づくりは今後もしていきたいと思います。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	2			記録は残っているが、検証改善に全ては繋がっていないこともある。	スクラム会議やプラン評価時は確認を行い、その検討事項を踏まえ、適切な支援目標が立案をするようしています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3				現在アセスメントは1か月半程度、それ以降は半年程度で見直しを行っている。	基本的には今後も同様です。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	1			2	保護者支援や余暇活動等複数支援ができている	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそ	1	2			日頃支援に携わっているスタッフが参加している。	今後も引き続き、支援に当たっているスタッフが参

関係機関や保護者との連携		の子ども状況に精通した最もふさわしい者が参画している						加していきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3				変更事は随時保護者から発信してもらうようお願いしているため、随時保護者から発信がある。また、不明な場合はこちらから確認するようもしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					該当なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	1		1	就学後すぐに確認する機会がある。その後は必要に応じてスクラム会議を実施。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2			1	これまで実施なし。 継続的には計画相談がパイプとなって連携している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		1		2	スクラム会議などで関わることはあるが、助言、研修は受けていない	今年も他法人や学校からの見学をしていただいています。助言というよりは、統一的な支援のための共通理解を目的としている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			3		学童と関わる機会はない。 地域イベントに親の会を中心として参加する予	親の会を中心として、地域のフォーラムに参加したことがある。

						定。		
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	2			1	定例会に参加。行事には係りとして携わっている。	保護者にもイベント等の情報を通信などで伝えて参加してもらうよう声かけはしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1	2			毎回の申し送りを行っているが、共通理解までは難しい	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3				ペアレントトレーニングを上半期に実施。保護者向け学習会を2か月に1回実施。	次年度も継続的に実施していく予定にしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	1		1	1時間程度の説明を行っている <u>担当していないので状況が把握できていない</u>	研修会にて事業の概要などを確認する・説明する(スタッフによって)機会をつくり、説明できるように育成していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1			自力処理が難しい場合は、上司に相談の上、処理を行っている。	今後も必要と思われるケースに関しては、相談の時間を設定させていただきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3				親の会ハッピーサークルの事務局を通して、学習や講演会の開催をしている。	先輩保護者として経験談を語っていただく機会を設けています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3				継続的改善活動や事業所内相談体制を整えており、受付者から相談対応者へ即座に情報が行くシートがある。	今後も即対応を目指して取り組みます。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3			担当制で週に1回通信を発行し、情報発信を行っている。 その他はfacebookや通信号外にて発信している。	今後も必要に応じて発信をします。なお、掲示が必要な物は掲示板活用をしていきます。
	35	個人情報に十分注意している	1	1		注意しているが、危険はある	書類管理は鍵つきロッカーに保管をしています。また、建物にはセキュリティーセコム管理をしています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	1	2		分かりやすい形でメールを残すよう配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		2		1	内覧会を実施。 公園の美化を実施。(地域団体とともに) 実習生やボランティアを受け入れている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2		マニュアルがあり、周知をしている。全職員が把握しているかは難しい	保護者にはオープンにはしていないですが、防犯は現在作成中です。感染は汚物処理など部分的にはあります。今後は説明ができるように整えていきたいです。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			年2回実施している。	1回目は夏に実施しています。 次回はH31.1月予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する	1	1		1	年に1回行っている

	等、適切な対応をしている						
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		1	1	1	重要事項にのっている 通所計画にはのせていない	こういった状況が予測されと判断した場合は、保護者への説明のもと、該当の方に関しては計画書に記入をさせていただきます。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1			保護者からの聞き取りによりアレルギー源の管理。職員周知している。	調理活動の際は、成分を含まないものを準備しています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3				積極的に活用している。	

(特非) 発達支援ネットワークつむぎ H30. 9.1～